令和７年８月釜石市教育委員会会議定例会

１　開催日時　令和７年８月 20 日（水）午後１時 28 分から午後２時 30 分

２　開催場所　釜石市役所第４庁舎　教育委員会　会議室

３　出席委員　教 育 長　　髙　橋　　勝
　　教育委員　　佐　野　茂　樹
　　教育委員　　中　田　義　仁
　　教育委員　　佐々木　ひづる
　　教育委員　　花　輪　妙　子

４　議案

番　号	案 件 名	審議結果
議案第 31 号	令和６年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価に関し議決を求めることについて	可決
議案第 32 号	市議会定例会提出案件（学習者用コンピュータの取得に関し議決を求めることについて）に同意することについて	可決

５　報告

番　号	案 件 名	審議結果
報告第５号	令和７年度第１回釜石市学校給食センター運営委員会の開催結果について	承認

【開会・会期の決定・付議案件】

○髙橋教育長　本日の出席者は５人で、定足数に達しており、会議は成立します。

ただいまから令和７年８月釜石市教育委員会会議定例会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

日程第１、会期の決定でございます。会期は本日１日限りといたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

○各委員　（異議なし）

○髙橋教育長　御異議なしと認めます。

よって、会期は本日１日限りと決定しました。

それでは、日程第２、付議案件に入ります。

「報告第５号　令和７年度第１回釜石市学校給食センター運営委員会の開催結果について」を事務局から説明をお願いいたします。

○松下学校給食センター所長　令和７年度第１回釜石市学校給食センター運営委員会を開催しましたので、その結果を報告いたします。

資料の１ページから３ページまでとなります。

７月11日金曜日、午後３時から午後３時45分の時間帯で、学校給食センター２階会議室で会議を開催いたしました。委員の出席状況につきましては、委員16人中、委任出席２人を含む15人が出席いたしました。傍聴者はありませんでした。

続いて、委員会の経過でございますが、委員及び事務局の自己紹介の後、開会いたしました。議事につきましては、新任期最初の運営委員会であることから、委員長及び副委員長の互選を行い、委員長に鵜住居小学校校長の髙橋美友紀委員、副委員長に釜石中学校校長の佐々木一成委員と釜石薬剤師会の瀬戸由里香委員を選出いたしました。

次に、施設運営等につきまして、３月の運営委員会で説明し、承認済みでありますが、委員に変更があったことから、改めて施設運営及び事業計画について説明いたしました。

次に、小中学校からの献立募集につきまして、今年度のテーマは「とり肉」を使ったわが家の自慢料理として実施することを説明いたしました。

次に、令和６年度学校給食費徴収金収納状況につきまして、令和６年度分の収納状況は収納率100％で報告をいたしました。

次に、残量調査につきまして、２学期に５回実施予定であることを説明いたしました。

続いて、その他では、委員の皆様からは特になしとのことで、事務局から小中学校関係委員選定の考え方についてと、給食費の現状について説明し、閉会いたしました。

会議の中での主な質疑・意見等につきましては、まず、献立募集（わが家の自慢料理募集）について、レシピはクックパッドからそのまま持ってきたものを作ってよいか、また、甲子小中学校の応募点数がすごく少ない。多い学校は20点、30点もあるので、センターから各学校にもうちょっと働きかけはないのかとの質問がありました。事務局から、働きかけについては、栄養教諭が指導に伺った際に子どもたちに声かけやお便りでの募集周知、学校の校内放送でお昼時間に募集のお知らせを流していただいている。レシピについては、インターネットも普及しており、いろいろな料理が紹介されているので、そこからのレシピの募集もあるが、そういうものは同じような感じになるので、審査からははじかれ上位

には上がらない。しかし、料理に関心を持っていいただくということもあるので、インターネットで調べて応募するのは構わないが、そこから工夫しているところがないと審査では選ばれない。

なお、今年度の募集状況により、来年度以降、この事業を継続するか検討が必要と考えている。児童生徒の数も減少しており、いろんな情報がある中で、オリジナルのものを作ることも難しくなってきているところもあると回答いたしました。

これに対し、委員から、中学校の応募点数が激減している。何か思い当たる節はあるかとの質問があり、事務局から、部活動などいろいろと忙しいところはあると思う。令和４年度に200点以上応募があったのは、２学期の最初の授業で取り上げていただいて応募してきたところがある。学校の授業で取り組んでいただくと、応募用紙を書く時間が取れるのかなと思うと回答いたしました。

このやり取りに対し、委員長から、授業時間を確保する部分も難しいところもあると思うし、夏休み中の作品応募も様々なものがあるので、子どもたちもその中から選ぶのも難しいところもあると思うが、せっかく継続してきたものなので、ぜひ放送等で繰り返し周知を図っていただき、子どもたちに関心を持っていただき、たくさん応募があるといいなと思うとの意見がありました。

次に、令和６年度学校給食費徴収金収納状況について、説明内容とは関係ありませんが、給食費がほとんど変わっていない。３年前に私がこの委員をやっていたときから実際に物価が上がっているが、大丈夫やっていけているのかとの質問がありました。事務局から、実際、給食費だけでは賄えない状況で、市から物価高騰分ということで予算措置して対応している状況である。詳しい内容については、「その他」で職員から説明すると回答しました。

その後、「その他」で給食費の現状について説明しましたが、こちらでは質問、意見はありませんでした。

開催の報告については以上でございます。

○髙橋教育長　ありがとうございます。

ただいま報告がありました。質問、御意見、ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　大きく話題になったところは、献立募集のところと、給食費の関係ですか。

○松下学校給食センター所長　はい。出た質問はこの２件になります。

○髙橋教育長　わが家の献立募集は今年度も行うということで、これからいろんな呼びかけなどもやっていくということですね。非常にこれについては、毎年度、取り組んで応募している学校と、固定化しているような状況もありました。

○松下学校給食センター所長　特に中学校からの応募が１桁になったりすることもあるので、今年度の応募状況を見て来年度以降どうするか検討したいと思っておりました。

○髙橋教育長　学校全体で取り組んでもらわないと、なかなか応募件数は増えないのではないかと思います。

○松下学校給食センター所長　献立募集のほかにも作品応募などがあるので、その中から選んでいただくというのは、なかなか難しいところがあるということでした。

○髙橋教育長　委員の皆さんから、献立募集が増える知恵など何かございますか。

○佐野委員　これはどこが主催しているんですか。

○松下学校給食センター所長　給食センターです。

各校から応募していただいて、優秀作品の中から給食で出せるものを前提としております。

○佐野委員　なるほど。例えば、その他として、ネパールの料理とか、そういうのはだめなのでしょうか。

○松下学校給食センター所長　あえてネパール料理というのはやっていないのですけれども、給食の中でいろんな料理を作っていますので、その中で給食で出せるものとしております。

○髙橋教育長　花輪委員さんのほうから、実際のところで何かございませんか。

○花輪委員　うちの息子は今回、学校の宿題として出されていますが、今までは自由募集みたいな感じで読書感想文などの中から自分で選ぶかたちでした。今回は学校で全員夏休みの宿題として課題を出されているので、そういうふうにやったほうがいいのではないかと思います。中学校はどうしても宿題、テスト勉強など、実力テストがあったりするので、難しいところがあるかもしれませんが、学校で強制的じゃないですけれども、やったほうがいいのではないかと思います。

○髙橋教育長　そうですね。そのあたりのところですかね。

○松下学校給食センター所長　栄養教諭が食に関する指導の中でも、応募のほうはお願いしてやっているみたいです。

○髙橋教育長　この件については、もう少し対応が必要というところで、教育委員会としても継続していくということであれば、何かその方策ということも、給食センターだけではなくて、皆で知恵を出しながら対応できればいいかなと思いますので、ぜひ委員の皆さんにも何か方法などがあればお聞かせいただきたいと思います。

○佐野委員　方法ではないのですけれども、例えば、将来的に進学や就職で独り暮らしをしなければいけない場面が出てくるので、自分で料理を作るとか、そういうのはやっぱりスキルとして身につけておかないと、生きる力につながっていくのではないかというところを宣伝することも手法の一つとしてあるだろうなと思いました。

○佐々木委員　テーマを、自分が作ってみたい料理や、自分がおいしいと思う料理だったりとか、自慢料理だとお母さんとかの意見も出てくると思うので、これが一番おいしいと思うよというのを出してもらったり、興味があれば少し増えるかなと思います。

○花輪委員　実際にやってみて、親も一緒になって写真を撮ったり、作ってみなければならないので、親からすれば正直大変な部分ももしかしたらあるのかもしれないです。

○髙橋教育長　例えば、小学校と中学校で分けて、中学校は、わが家の献立よりも自分で何か作るとか、自分で自慢の弁当とか、何かそういうことで募集してみるとか、小学校のほうは、低学年はなかなか一人でできないのでテーマを設けて保護者と一緒に応募をするとか、学年によって募集の中身を分けるということも、今出た中ではあるのではないかと思いますので、その辺りも参考にしていただいて、今年度難しければ来年度に向けて検討をして、また、教育委員会内でもいろいろ御意見を聞きながら対応していくことができればなと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、給食センターの部分についてはよろしいでしょうか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、「報告第５号　令和７年度第１回釜石市学校給食センター運営委員

会の開催結果について」は、報告事項につき了承願います。

「議案第31号　令和６年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価に関し議決を求めることについて」を、事務局から説明をお願いいたします。

○笹村総務課長　それでは、議案書の４ページを御覧願います。

「議案第31号　令和６年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価に関し議決を求めることについて」でございます。

提案理由といたしましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和６年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価の結果を取りまとめ、釜石市議会９月定例会に提出するとともに、公表しようとするものでございます。

お手元の別冊を御覧願います。

最初に、先月も御覧いただいたところでございますが、委員の皆様から御意見等いただきました。その中で、変更した箇所を最初に御紹介いたします。

別冊の３ページでございます。最後の下段のところでございます。

３、会議以外の主な活動の（４）研修会等につきまして、教育委員の会議、研修会について記載したほうがよいのではないかという御意見がございましたので、10月に佐野委員、佐々木委員が出席した「岩手県市町村教育委員会協議会教育委員部会」を追記したものでございます。

続きまして、６ページを御覧願います。

内容といたしましては、教育研究事業についてです。最後に評価結果がございますが、先月提出したものは、予算の縮小ということもあり、評価結果を縮小（継続）にしておりましたが、委員の皆様から内容については充実を図れる取組なので、拡充（継続）でどうですかという御意見がございましたので、拡充（継続）に変更しております。

変更した箇所は、以上、２点でございます。

それでは、報告書の説明に移ります。

内容はそのとおりでございまして、最終ページのほうの62ページを御覧願います。

評価結果につきまして、学識経験者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、４つの基本施策に係る６つの取組項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて、御意見を頂戴したところでございます。

開催日時は、令和７年７月31日、13時30分から15時40分まで開催しております。

会場は、教育委員会会議室で行っております。

学識経験者の皆様は、谷澤栄一さん、山崎鮎子さん、鈴木崇さん、菊池錬城さんに務めていただいております。

意見の聴取方法につきましては、担当課においてあらかじめ事業の自己評価を行い、二次評価として学識経験者から評価の妥当性について判断していただいております。

以下、主な意見につきまして、「基本施策１　未来を担う子どもたちの育成」について、かいつまんで御説明いたします。

１つ目の外国語指導助手設置事業について、外国語指導助手の増員が困難であれば、英語専科の先生の配置の検討、中学校の英語教員が小学校５、６年生の授業実施などの体制を取り、英語力の向上を図ることも一つの方法ではないかと意見を頂戴しております。

２つ目、教育研究事業について、教育の質の向上は、授業力の向上ということを考えれば、

個々の先生方が複数年かけて積み上げてきたものを皆で見せ合って学ぶ学校公開は大きな意味があったとの評価を頂戴しております。今後、小中連携交流会の実施をするのであれば、その場だけにならないように継続した連携を図っていただきたい。学校公開に代わる質の向上を図れるような取組としていただきたい。特に中学校では、各教科の先生が少ないために教科部会が成立していない、小中連携により、ひとつの教科について複数の教員での協議が行われるので、今後の指導づくりに生かすことができるのではないかとの評価を頂戴しております。

続きまして、釜石市学校文化体育振興会運営費補助金について、市内、市外、県外の大会等に参加して活躍の場を広げてほしいので、そのための支援が必要だと思うと意見を頂戴しております。中学校統合を目指していくときに、部活動は子どもたちや保護者にとって大きな要素となっている。統合前から部活を学校の枠を外して取り組めるような体制ができれば、部活で一緒に交流している子どもたちが落ち着いた状態で新しい学校でスタートできる。予算や指導者などの問題があると思うが、それも踏まえて部活動の合同実施を検討していただきたいと意見を頂戴しております。

続きまして、英検受験料補助事業については、英検以外にも数検や漢検など、ほかの分野への補助はどうですかという提言がございました。

続きまして、放課後学習支援員配置事業について、非常に成果を上げていることが調書から読み取れる。塾に通えない子どもなど、放課後に教えてもらったことで勉強の意欲やモチベーションが上がるということが確実に起きていると感じた。今後、予算を増額して全体をレベルアップさせてもらうことを希望するとされております。

続きまして、「基本施策２　子どもを育む環境づくり」です。

教育広報発行事業について、教育委員会の取組や児童生徒の活動内容を知る意味でとても大事である。主な掲載記事のうち、ラグビーのまち釜石とある。今後もラグビーのまちとしてやっていくには、少年少女への普及活動が不可欠である。教育委員会も学校の授業などでタグラグビーの活動の啓蒙を図り、ラグビーのまちとして自信を持って標榜できるようにしていただきたいとされております。

続きまして、かまいし絆会議運営事業について、課題に「市内の小中学生全員が会議のメンバーの一員であることの意識の低下が見られる。全員が当事者であるという意識づけを行うこととする。」とある。会議の結果を学校にフィードバックして、ほかの子どもたちに意識づけするという流れをつくっていけないか。参加した児童生徒が一つでも自分が感じた熱のあるものを伝えられる機会となってほしいと提言を受けております。

続きまして、学校適応支援員配置事業、特別支援教育支援員配置事業、こころのケア事業の３つにつきまして、取りまとめてお話しさせていただきます。支援員配置を知らない保護者もいる。特別支援員やこころのケア、学校適応支援の３つの人的支援について、学校内だけではなく、家庭にも情報提供をしていただきたい。カウンセラーになかなかつながらないという声を聞く。いつ来校しているのかなど、基本的な情報を保護者側が知らないことが多い。関わり方を知ることができるようにしていただきたいと意見を頂戴しております。

続きまして、「基本施策３　生涯学習・スポーツの振興」でございます。

放課後子ども教室推進事業について、放課後の子どもたちの居場所づくりの観点が非常に

大事である。双葉小学校区には、児童館、学童、放課後こども教室があり、イベントが重複することが多い。それぞれの連携が図れれば参加者が増加するのではないかとされております。

65ページでございます。

「基本施策４　歴史・文化・芸術文化の振興」です。

文化財保護事業については、遺跡の杭について、腐って損傷したため、遺跡の状況が分からないでいる。遺跡があることを調べる方法や目印になるようなものを再設置していただきたいとされております。

続きまして、鉄づくり体験事業について、鉄づくり体験とは別に、中学生が釜石製鉄所の構内見学を実施している。子どもたちが製鉄所の構内見学、橋野鉄鉱山に行き、さらに、釜石にはラグビーがあるということを認識し、子どもたちが釜石に誇りを持てるような、現場で体験できる企画を検討していただきたいと意見を頂戴しております。

続きまして、郷土資料館管理運営費、旧釜石鉱山事務所維持管理費でございます。鉱山事務所や鉄の歴史館にはＳＮＳアカウントがあるか。来場者数の増加を目指すにはＳＮＳの活用が有効ではないかとされています。

施策４についての全体についてでございます。文化財や世界遺産について、登録されたことは分かるが、例えば、鉄づくり体験事業は児童生徒向けで理解しやすい。イベントをＰＲするときに、講演会だけではなく、親子で体験できる内容もあると参加しやすいのではないか。参加者の裾野を広げるための案を考えていただきたい。ポスターがあっても難しそうだと感じることもあるので、誰でも理解できる内容にしていただきたいと、意見を頂戴しております。

最後、その他でございます。全般を通しての意見ということで、予算について取捨選択が必要ではないか。拡充するという積極的な部分がある一方、減らすということに対しての中身の部分が不足している。取捨選択についても努力して、未来の子どもたちのためになるお金の使い方をしていただきたいということでございます。

説明については、以上でございます。

○髙橋教育長　ただいま説明がありました。質問、御意見ございませんか。

○佐野委員　学識経験者から指摘された内容はそのとおりだと思います。

○髙橋教育長　意見聴取会でこのような御指摘、御意見をいただいていますが、御質問や御意見はございませんか。

○各委員　（なし）

○笹村総務課長　あと、意見聴取会の際、10日ほど前に資料を送付しておりました。委員の皆さんに事前に見ていただいた上で意見聴取ができまして、時間は２時間10分ほどかかっております。昨年と比較すると、昨年より説明時間が大分短縮されて、逆に意見交換、議論した時間が昨年よりは、はるかに取れたと思いますので、有意義な意見交換ができたというところはございました。来年度以降も委員さんたちに提供する資料と併せて、意見聴取のほうも事前配付した上で意見聴取に臨むということは、継続してまいりたいと考えております。

○髙橋教育長　それでは、「議案第31号　令和６年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価に関し議決を求めることについて」は、原案のとおり決することとして御

異議ございませんか。

○各委員　（異議なし）

○髙橋教育長　御異議なしと認め、原案のとおり決することといたします。

「議案第32号　市議会定例会提出議案（学習者用コンピュータの取得に関し議決を求めることについて）に同意することについて」、事務局から説明をお願いいたします。

○岩渕学校教育課長　それでは、議案第32号、５ページを御覧いただきたいと思います。

市議会定例会提出議案（学習者用コンピュータの取得に関し議決を求めることについて）に同意することについてでございます。

提案理由といたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、議会の議決を経るべき事件の議案について、市長から意見を求められたので、それに同意するものでございます。

６ページを御覧いただきたいと思います。

１つ目、提案理由は先ほどと重複いたしますが、学習者用コンピュータを購入しようとするもので、予定価格が2,000万円以上であることから、議会の議決を求めるものでございます。

取得する目的です。現在、市内小中学校で使用している学習者用コンピュータのリース期間が満了することから、１人１台端末環境を維持するため、新たに購入するものでございます。

取得する財産は、Google Chromebook、1600台、ざっくり小学校で1,000台、中学校600台とのことであります。

予定価格は7,354万1,600円となります。

あとは、こちらに記載のとおりでございます。

以上でございます。

○髙橋教育長　ただいま提案がありましたが、質問、御意見ございませんか。

前回と違う部分があれば説明お願いします。

○岩渕学校教育課長　前回は、Windowsと言われるものを使わせていただいておりました。これまで使用してきた中で、端末のOSの課題もございまして、特にコンピュータの更新が不定期にかかったりするものですから、授業でいざ使うとなったときに更新に時間がかかってしまって動かないというような児童生徒さんもおられて、なかなか授業のほうもスムーズに進められない場面もあったという課題もお聞きしました。

この部分について、Chrome OSは、更新と通常の作業を同時進行できるというシステムであるということでしたので、これまでの課題の部分がクリアできて、しかも、非常に動きが軽いというお話を受けておりましたので、フリーズや、なかなか次のページに進まないとか、そういったところの課題が改善できるのではないかと考えております。

○髙橋教育長　改善のために前回と異なるOSということで、そこが一つ大きく変わったところだということです。今回は買入れということで、前回はリースでそこの違い等もあったら説明お願いします。

○川﨑教育部長　前回はリースで５年契約でしたが、今回、岩手県が共同購入会議を設置し、県内の市町村全部、共同購入するという仕組みで購入しています。国庫補助が３分の２、３分の１は一般財源になりますが、財源措置があるということで、リースの場合だと、リ

ース契約の部分で単価が高くなるんですけれども、そこの部分は補助対象外なので、今回は購入ということですけれども、全部補助対象になるというメリットがあります。

○佐野委員　大体何年くらい使うんですか。

○川﨑教育部長　おおよそ５年です。

○佐野委員　５年後に買取りするかどうかということですか。リースのほうが長い目で見ると、コンピュータはどんどん進化していくのでどうなのかなと感じました。

　また、Google Chromebookを他市町村で導入してよかったという実績はあるのでしょうか。

○岩渕学校教育課長　第１期に使用していた自治体は奥州市などが使っていました。今回の第２期につきましては、紫波町など、県内でも使用する自治体はあるとお聞きしておりました。

○髙橋教育長　Windowsから変えた自治体も結構ありますか。

○岩渕学校教育課長　そうですね。変えられているところもあるかもしれません。

　更新が非常に丁寧なものですから、容量が多くて更新だけでかなり時間と容量がかかってしまうというシステムで、課題の部分から今回そういったところの改善ができるのではないかと考えております。

○髙橋教育長　よろしいでしょうか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　この部分と関連して、学校のほうからは特にアクセスの部分で課題が出されている面もありますが、今回の購入と併せてその部分の対応について説明お願いします。

○岩渕学校教育課長　通信ネットワークが国の速度に達していないので、何とか改善したいということで、今ネットワーク自体がどういう課題があるのかということを調査して分析していただいておりました。それによって少し改善する部分が出てくるかもしれませんし、あとは、もう少し根本的な部分の改善というところが出てくるかもしれません。いずれにしても、ネットワーク自体の評価の部分を、今専門業者さんにお願いして進めているところです。

○中田委員　アクセスの不具合というのは、どの学校でも一緒ぐらいですか。

○岩渕学校教育課長　時間にもよりますし、朝一斉に立ち上げると遅かったり、少し時間がずれるとうまくいったりとか、使用状況、使用環境、その日の全体のネットワークの使用状況などあります。

○中田委員　小規模校は割と安定しているのでしょうか。

○岩渕学校教育課長　小規模校は、意外とスムーズです。繋ぐ台数が多くなると渋滞がおきてしまう。

○髙橋教育長　たしか国の調査だと国の基準に達しているのが全国で３割程度ということで、ここが大きな課題になるところです。このような改善を図るということでの方針を示しているので、今後そういった部分や今はタブレットを使用した調査の回答とか、全国調査もそういうかたちになってきていますので、環境が整っていないと学校も困る部分がありますので、今後とも整備に力を入れていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

　それでは、「議案第32号　市議会定例会提出議案（学習者用コンピュータの取得に関し議決を求めることについて）に同意することについて」は、原案のとおり決することとして御異議ありませんか。

○各委員　（異議なし）

○髙橋教育長　御異議なしと認め、原案のとおり決することといたします。

日程第３、定例報告事項等に入ります。

(1)各課事業報告及び(2)各課事業計画について、順次説明お願いいたします。

総務課よりお願いします。

【定例報告事項等】

(1) 令和７年８月各課事業報告・(2) 令和７年９月各課事業計画について

（総務課８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（学校規模適正化推進室８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（学校教育課８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（学校給食センター８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（文化財課８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（まちづくり課８月事業報告・９月事業計画に関連して）

（図書館８月事業報告・９月事業計画に関連して）

○髙橋教育長　ありがとうございます。

ただいま各課から報告がありましたが、質問、御意見ございませんか。

○佐野委員　文化財課に対してですが、非常に郷土資料館はいい内容のものをよく取り上げていただいているのですけれども、外から見てつくりが謙虚というか、開いているのか、開いていないのか分かりにくいことがあるようですので、目立つ何か文言みたいなのがあると、ほかから来た人もわかりやすいのではないかと思います。

○小笠原文化財課長　私も引継ぎでその話を聞いていまして、奥まっていることもあって分かりづらいということで、できれば道路側に看板ということで、何かつけようかということで検討はしておりました。その必要性は認識しております。

○佐野委員　分かりました。

あと学校教育課に質問ですが、夏休みの児童生徒の事故や事件、補導等はなかったのか。あるいはプールなどをどのくらい利用されたのか、その辺分かる範囲でお願いします。

○岩渕学校教育課長　まず、事件、事故については、現在、学校がスタートしたところですけれども、報告は来ておりません。

プールの利用状況等については、暑くてやめたというところもあるかもしれませんが、そういったことも含めて改めて状況を把握したいと思っております。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

何かもう少しこのあたりのところを詳しく聞きたいということなどでもよろしいです。

○佐々木委員　夏休み明けどうしても不登校の子が増える傾向があって、教育委員会としての対策があるのか、もしくは学校さん独自でやっていらっしゃるのか、人数的なものはまだ始まったばかりなので分からないと思うんですけれども、そういったところを知りたいなと思いました。

○岩渕学校教育課長　今お話あったように、長期休業明けのスタートというところで不登校が増えたりというようなのは、当市に限らず全国的なものでありますので、当市としては特に、スタートでつまずく夏休みの課題の部分とか、そういったところのつまずきという部分がありますので、長期休業中の課題の与え方というあたりも改めて学校のほうには見直していただくというところでございます。あわせて、スタートのときは緩やかなスタートになるようにということで、特に小学校では午前授業から始めたり、配慮していただいています。あとは、特に長期休業明けの不登校が多いということは、県からの通知も出ていますので、学校に周知して、先生方にスタートの部分を丁寧にやっていただくように指導しているところでございます。

○髙橋教育長　それでは、次の教育委員会会議のときでも、１学期の不登校の状況などをお知らせしていただきたいと思います。

そのほか、ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、（３）その他、何かございませんか。

学校教育課からお願いします。

○岩渕学校教育課長　前回の定例会の中で、中田委員さんのほうから英検の受験者数についてということで、令和６年度実績については、点検評価報告書に掲載しておりましたが、前年度の受験者数について御意見いただいておりましたので、報告いたします。点検評価報告書では、令和６年度の英検受験者ということで、３級が57名、準２級が14名、合わせますと71名ということになります。これは学年問わずです。１年生はいないと思うのですけれども、２年生で中３レベル、高校レベルを受験する方もいるかもしれませんが、ほとんどは３年生だと思います。令和５年度の数字については、同じ数字が拾えなかったのですけれども、令和５年度の３年生の受験者は42名です。３級と準２級の内訳は分からない状況です。３年生なので、４級というのはなかなかないのではないかと思っておりますので、42名は３級か準２級かと思っているところです。そういった状況でございました。

○中田委員　比較すると、効果が見えたのではないかと思います。

○岩渕学校教育課長　一層受験者数を伸ばせるように取り組んで参りたいと思います。

○髙橋教育長　釜石市では３年生で４級を受けている生徒もいたので、以前に補助事業をやっていたときは３級以上ということではなくて、英検を受験する生徒に１回補助をするというかたちでやっていたときには、４級と５級を受ける子が混在していたので、それから比べたら６年度は３級と準２級の数字なので、そういった面では一定の効果があったのかなと捉えることもできるのではないかと思います。

○中田委員　ありがとうございます。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、次に移りたいと思います。

【その他】

○髙橋教育長　日程第４、その他に入ります。
　学校教育課からお願いいたします。
○岩渕学校教育課長　委員の皆様方に、平田小学校さんから封筒が来ているかと思いますが、こちらの中身は150周年記念式典への参加依頼ということで、９月12日までに送ってくださいという内容になっておりますが、私のほうで取りまとめて学校のほうに連絡したいと思いますので、時期が近づきましたら御連絡を差し上げますので、それまでに出欠のところを確認しておいていただければと思います。よろしくお願いいたします。
○髙橋教育長　平田小学校の学習発表会と同じ日になっています。
○岩渕学校教育課長　学習発表会の事前段階で式典を行うということです。
○髙橋教育長　式典を行って、その後学習発表会ということになる予定のようですので、ぜひ御参加いただければと思います。
　そのほか、ございませんか。
○事務局　（なし）
○髙橋教育長　委員の皆さんから何かございませんか。
○各委員　（なし）
　それでは、次に、日程の確認をお願いいたします。

（次回定例会について）
　令和７年９月教育委員会会議定例会の日程について協議。
　開催日は令和７年９月24日（水）午後１時30分と決定。

○髙橋教育長　本日の定例会は、以上をもって閉会いたします。

午後２時３０分閉会